

# 六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成  
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 11月号  
令和4年11月11日  
松阪市立嬉野中学校  
校長 山下隆久

## ひとりひとりの 輝く良さが大切にされる学校に！



10月27日(木)「よく観て、よく聴いて、自分に焦点をあてて、自分の思いを伝えましょう！」という瀧本後期生徒会長の言葉で始まった学校祭2日間は、嬉野中学校が大きく、強く、豊かに成長したことを感じた素晴らしい時間でした。仲間のことを考え、思いを繋いできた嬉野中生徒みなさん一人ひとりの輝きを感じた充実の時間でもありました。

体育館の個性が際立つ美術作品とともに、その人らしさが線の一画一画に表現された1年生書道作品も武道場に展示されました。他にも、ものづくり部は熟練の技が垣間見える個々の作品を、美術部の作品は繊細で高い技術の作品を、そして家庭部は個性あふれるアイデア作品を武道場展示会場に出展しました。ものを創っていく過程で探究していくおもしろさを感じられました。

第1日目の人権作文発表では自分自身を振り返る貴重な時間となりました。3年生のクラス演劇は見出しの「ひとりひとりの輝く良さを大事にしたい！」という3年生の思いがダイレクトに伝わってくるものでした。



第2日目は、クラスの団結を全力で伝える合唱コンクールと、集中力とチームワークで仕上げた演奏で会場を一つに盛り上げた吹奏楽部発表とがありました。中でも3年生の合唱からは、「これが中学生生活最後の合唱！」という決意や「支えてくれて、ありがとう！」という感謝などの思いが一つとなって伝わってくる「熱い心」を感じました。3年生の情熱が心に響きました。

## 前期から後期に引き継がれた 生徒会「自治」の力



10月24日（月）後期生徒会役員と校長懇談会を実施しました。新役員としての考えや思いがしっかり伝わってくる懇談会でした。「生徒みんなが過

ごしやすい楽しめる学校にしたい」「笑顔と挨拶であられる学校にしたい」「いま困っていることを改善して安全な楽しい学校にしたい」などの真剣な思いが伝わってきました。

懇談会での新役員が示した姿勢は「自治力のある生徒会にしていきたい!」ということですので。これからの社会を生きるために大切な、「自ら」を感じた懇談会でした。

### 「自治」の力とは

自分や自分たちに関することを自らの責任において処理できる力、自分たちで自分たちを高めていくことができる力のこと。

瀧本生徒会長から「私が先輩方とともに活動した昨年度前期生徒会の経験を活かして、生徒みんなが安全で楽しめる学校を創っていきたいと思います。」と懇談会で伝えられました。「3年生を送る会を楽しいものにして感謝をしっかり伝えたい」「掃除やYGGの活動をしっかり楽しくしてけじめある学校にしたい」など生徒会活動に対する思いを聴かせていただきました。

後期生徒会役員の7人を中心にして、563人ひとりひとりの力を結集した「自治」の力で嬉野中学校をパワーアップさせてください。

会 長	瀧本 祥真	2年4組
執行役員	岡 徠斗	2年2組
	出口 大和	2年2組
	山本 笑	2年3組
	乾 颯斗	2年4組
	山中 神楽	2年4組
	若林 奏志	1年4組

## 赤い羽根共同募金は単なる募金ではなく みんなで作るしくみづくりです。



イラストは、嬉野中3年生の北川さん作「レッドバード」です。赤い羽根の赤色は「勇気」と「行動」のシンボルの色だそうです。

11月27日（日）におこなわれる「嬉野マルシェ」に向けて前後期生徒会役員の人たちが企画運営で準備しています。また福祉委員会で赤い羽根共同募金について学習もします。松阪社会福祉協議会の方は「赤い羽根の募金は、みんなでみんなの暮らしを支えることが一番の目的です。」と伝えてくださっています。中学校でも募金活動を行います。そして「嬉野マルシェ」は、みんなで暮らしを支えるために人と人とをつなぐ場です。**ご協力よろしくお願ひします!**